

平成28年度 特別会計決算

まちには、一般会計のほか、7つの特別会計と1つの企業会計があります。特別会計は、特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して設置します。

各会計の決算額は以下のとおりです。

平成28年度 会計別決算額

(万円未満は四捨五入)

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	72億4737万円	71億7607万円
学校給食事業特別会計	1億1398万円	1億1371万円
公共下水道事業特別会計	3億4531万円	3億4501万円
国民健康保険事業特別会計	22億9811万円	22億8270万円
農業集落排水事業特別会計	1億5196万円	1億5186万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	362万円	362万円
介護保険事業特別会計	13億5256万円	13億2675万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億6678万円	1億6351万円

会 計 名	収 入	支 出
水道事業会計	4億2400万円	4億443万円
特別会計	6825万円	2億2317万円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

まちの財政は「健全」

財政健全化判断比率および資金不足比率が報告されました。健全化判断比率のうちいずれかが早期健全化基準以上になった場合は、財政健全化計画を策定し、財政の健全化をはかることとなります。

まちの平成28年度決算では、いずれの数値も早期健全化基準などを下回っています。なお、将来負担比率については、昨年同様発生しませんでした。

1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— % (15.0)	— % (20.0)	10.7% (25.0) 〔10.5%〕	— % (350.0) 〔—%〕

備考 各比率の早期健全化基準は()内に記載
実質赤字額がない場合「—」を記載 前年度は〔 〕に記載

2 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率
水道事業会計特別会計	— %
公共下水道事業特別会計	— %
農業集落排水事業特別会計	— %

備考 資金不足がない場合「—」を記載

早期健全化基準……………地方公共団体の財政の健全性に関する基準。

実質赤字比率……………一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の割合。

連結実質赤字比率……………すべての会計を合わせた赤字の割合。

実質公債費比率……………借入金の返済額とこれに準ずる経費の割合。

将来負担比率……………将来負担すべき実質的負債の割合。

資金不足比率……………事業規模から見た各公営企業の資金不足の割合。

平成29年度 一般会計補正予算

借入金繰り上げ返済に4億円

歳入

入

歳出

出

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億6117万円を追加し、総額77億5635万円となりました。

歳入の主な補正は、地方交付税6845万円、基金繰入金5億682万円、前橋市より駒寄スマートIC負担金5382万円です。

歳出の主な補正は、公債費の繰り上げ償還に4億1652万円、役場西駐車場整備事業に2002万円の増額。花と緑のぐんまづくりに700万円、文化センター東側自動ドア設置事業に1102万円の増額。さらに駒寄スマートIC、南下城山防災公園整備事業や、今後の商工業、交通や環境整備のための調査・整備研究などに増額されました。



拡張予定の役場西駐車場

答

将来的に支払うこととなっていた2225万円です。

問

公債費の繰り上げ償還で浮く金額は。

9月

平成29年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6億6117万円	77億5635万円
学校給食事業特別会計	▲3万円	1億1704万円
公共下水道事業特別会計	220万円	4億558万円
国民健康保険事業特別会計	1092万円	23億8209万円
農業集落排水事業特別会計	402万円	1億6871万円
介護保険事業特別会計	1382万円	14億8060万円
後期高齢者医療事業特別会計	305万円	1億7327万円
水道事業会計特別会計		
収益的収支	▲195万円	4億216万円
資本的収支	▲1万円	2億5694万円